

改正後

(表) (予約採用用)

福 井 県 奨 学 生 願 書

貸付申込区分		修学奨学金						
福井県教育委員会 様								
下記の記載事項に相違ありません。福井県奨学金を申し込みます。なお、万一記入すべき事項を故意に記入せず、または虚偽の記入をしたことが判明したときは、貸付契約を破棄されても異議は唱えません。								
学校名		中学校						
		(年 組)						
		年 月 ※卒業・卒業予定						
フリガナ 本人氏名	※男・女	印	住所					
生年月日 年 月 日生			TEL ー ー					
送付保証人 (保護者等) (続柄: 本人の)		印	住所					
			TEL ー ー					
同一生計の家族	ア	続柄	氏名	年齢	所得の種類	収入・売上金額 (税込) 万円	所得金額 (税込) 万円	
						①		
							②	
							③	
							④	
							⑤	
主に家計を支えている者、ひとりに○ 同一人で2種類以上の所得がある場合には、二段階に記入								
イ 就学者(本人除く)	続柄	氏名	※設置者	※就学者控除	※通学別	控除額	万円	
			国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑦		
			国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑧		
			国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑨		
			国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑩		
ア 本人の就学者控除 ⑪								
イ 母子・父子世帯 ⑫								
ウ 障害のある人がいる世帯 ⑬								
エ 主たる家計支持者が別居している世帯 ⑭								
オ 長期に療養を必要とする人のいる世帯 ⑮								
カ 火災・風水害または震災などの被害を受けた世帯 ⑯								
						⑰-⑱の計	控除額合計	⑰
						⑲-㉑	認定所得金額	⑲
学校認定額							収入基準額	㉒
世帯人員						人		

出願者は太枠内を記入してください。

※の箇所は該当するものを○で囲んでください。

現行

(表) (予約採用用)

福 井 県 奨 学 生 願 書

貸付申込区分		修学奨学金						
福井県教育委員会 様								
下記の記載事項に相違ありません。福井県奨学金を申し込みます。なお、万一記入すべき事項を故意に記入せず、または虚偽の記入をしたことが判明したときは、貸付契約を破棄されても異議は唱えません。								
学校名		高等学校 高等専門学校						
		(年 組)						
		年 月 ※卒業・卒業予定						
フリガナ 本人氏名	※男・女	印	住所					
生年月日 年 月 日生			TEL ー ー					
送付保証人 (保護者等) (続柄: 本人の)		印	住所					
			TEL ー ー					
同一生計の家族	ア	続柄	氏名	年齢	所得の種類	収入・売上金額 (税込) 万円	所得金額 (税込) 万円	
							①	
								②
								③
								④
								⑤
主に家計を支えている者、ひとりに○ 同一人で2種類以上の所得がある場合には、二段階に記入								
イ 就学者(本人除く)	続柄	氏名	※設置者	※就学者控除	※通学別	控除額	万円	
			国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑦		
			国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑧		
			国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑨		
			国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑩		
ア 本人の就学者控除 ⑪								
イ 母子・父子世帯 ⑫								
ウ 障害のある人がいる世帯 ⑬								
エ 主たる家計支持者が別居している世帯 ⑭								
オ 長期に療養を必要とする人のいる世帯 ⑮								
カ 火災・風水害または震災などの被害を受けた世帯 ⑯								
						⑰-⑱の計	控除額合計	⑰
						⑲-㉑	認定所得金額	⑲
学校認定額							収入基準額	㉒
世帯人員						人		

出願者は太枠内を記入してください。

※の箇所は該当するものを○で囲んでください。

改正後
(B)

進学志望校 ※国公・私立	学校名	学部学科・科名
以前、福井県奨学生であった場合は、その学校名・奨学生番号 奨学生番号を記入	学校名	奨学生番号
奨学金の貸与を希望するにいたった家庭事情や、その他特に説明を要することを記入		
家 底 事 情		

(注) 1 学校種別別の欄については、次表より該当する記号を○で囲んでください。

在学する学校種別	記号
小学校または特別支援学校の小学部	小
中学校、中等教育学校の前期課程または特別支援学校の中学部	中
高等学校、中等教育学校の後期課程または特別支援学校の高等部	高
高等専門学校	高専
大学(短期大学および大学院を含む。)	大学
専修学校の高等課程	専高
専修学校の専門課程	専専

2 通学別の欄については、学校種別別の欄の「小」または「中」以外のものを○で囲んだ者について該当するものを○で囲んでください。

学習成績(5段階)の評定平均値	(注) 学習成績の評定について文書による記載が可能な場合には、それに従って記入してください。
特記すべきことを記入	所見記入者氏名
所 見	

この生徒は、福井県奨学生として推薦基準に合致していると認め、推薦します。

平成 年 月 日

福井県教育委員会 様

学校名

学校長氏名

職印

学校担当者氏名

この申込書に記入されている個人情報については、福井県の奨学金業務のためにのみ利用するものであって、その他の目的に使用することは一切ありません。
なお、不採用または採用取消になった場合、照会は返却しません。

現行
(B)

進学志望校 ※国公・私立	学校名	学部学科・科名
以前、福井県奨学生であった場合は、その学校名・奨学生番号 奨学生番号を記入	学校名	奨学生番号
奨学金の貸与を希望するにいたった家庭事情や、その他特に説明を要することを記入		
家 底 事 情		

(注) 1 学校種別別の欄については、次表より該当する記号を○で囲んでください。

在学する学校種別	記号
小学校または特別支援学校の小学部	小
中学校、中等教育学校の前期課程または特別支援学校の中学部	中
高等学校、中等教育学校の後期課程または特別支援学校の高等部	高
高等専門学校	高専
大学(短期大学および大学院を含む。)	大学
専修学校の高等課程	専高
専修学校の専門課程	専専

2 通学別の欄については、学校種別別の欄の「小」または「中」以外のものを○で囲んだ者について該当するものを○で囲んでください。

学習成績(5段階)の評定平均値	(注) 学習成績の評定について文書による記載が可能な場合には、それに従って記入してください。
特記すべきことを記入	所見記入者氏名
所 見	

この生徒は、福井県奨学生として推薦基準に合致していると認め、推薦します。

平成 年 月 日

福井県教育委員会 様

学校名

学校長氏名

職印

学校担当者氏名

この申込書に記入されている個人情報については、福井県の奨学金業務のためにのみ利用するものであって、その他の目的に使用することは一切ありません。
なお、不採用または採用取消になった場合、照会は返却しません。

改正後

削除

現行

様式第3号(第4条関係) (表) (在学生用)

福 井 県 奨 学 生 願 書		学籍(学生証)番号			
貸付申込区分	修学奨学金				
福井県教育委員会 様					
下記の記載事項に相違ありません。福井県奨学金を申し込みます。なお、万一記入すべき事項を故意に記入せず、または虚偽の記入をしたことが判明したときは、貸付契約を破棄されても異議は申しません。					
学校名 (在学大学院)	大学大学院 ※修士・博士(前期)	研究科 博士(医学・歯学・獣医学)	専攻 年次 年 月入学 年 月修了(見込)		
フリガナ 本人氏名	※男 女	印	住 所		
生年月日	年 月 日生 (歳)	TEL - -			
選掲保人 (父母兄弟)	(続柄: 本人の)	印	住 所		
生年月日	年 月 日生	TEL - -			
本人の収入	区分	勤 務 先	職 業	収入金額(年額・税込)	週当たり 就労時間
	定 職			前 年 万円 当年(見込) 万円	週 時間
収入	アルバイト			万円	週 時間
				万円	週 時間
				万円	週 時間
				万円	週 時間
状 況	父母等からの給付額			万円	万円
	奨学金(現在出願中のものを除く。)			万円	万円
	その他の収入(内容:)			万円	万円
配偶者の収入状況(定職収入のみ)		勤 務 先	職 業	万円	万円
氏 名	(歳)			万円	万円
本人および配偶者の収入金額合計				万円	万円
奨学金の貸与を希望するにいたった家庭事情や、その他特に説明を要することを記入					

出願者は本線内を記入してください。

※の箇所は該当するものを○で囲んでください。

改正後

様式第8号(第7条、第11条の2関係)

福井県奨学金貸付(貸付額変更)申請書

福井県教育委員会 様

年 月 日

下記のとおり福井県奨学金の貸付け(貸付額の変更)をお願いします。
 なお、福井県奨学生として奨学金の貸付金を受けるに当たり、福井県奨学育英基金条例および福井県奨学育英基金管理規則の規定に従い、奨学生としての責務を果たすとともに、貸付期間の終了後は、奨学金の返還義務を誠実に履行することを誓約します。

申請者は太線内を記入してください。

※の箇所は該当するものを○で囲んでください。

本人	現住所	〒	—	TEL(固定)	—	—	印
				(携帯)	—	—	
(下宿・アパート名など)							
	氏名	生年月日 年 月 日生					
連帯保証人	現住所	〒	—	TEL(固定)	—	—	印
				(携帯)	—	—	
(下宿・アパート名など)							
	氏名	生年月日 年 月 日生					
本人との関係							
保証人	現住所	〒	—	TEL(固定)	—	—	印
				(携帯)	—	—	
(下宿・アパート名など)							
	氏名	生年月日 年 月 日生					
本人との関係							
学校名	学校		課程	学科(科)		学年	
奨学生番号	※貸付申込区分		修学奨学金・通学奨学金				
貸付月額	修学奨学金 月額	円	通学奨学金 月額	円			
貸付期間	年 月 ~ 年 月						
通学奨学金の貸付けを希望する者	定期券の額	月額	円	乗車駅(停留所)名			
	利用交通機関名			下車駅(停留所)名			

(注意事項)

- 1 本人、連帯保証人および保証人は、それぞれ署名の上、押印すること。
- 2 連帯保証人および保証人の印は、印鑑登録してあるものを用い、印鑑登録証明書を添付すること。
- 3 在学証明書を添付すること。

学校点検印

福井県教育委員会記入欄

貸付月額 修学奨学金 円 通学奨学金 円

現行

様式第8号(第7条、第11条の2関係)

福井県奨学金貸付(貸付額変更)申請書

福井県教育委員会 様

年 月 日

下記のとおり福井県奨学金の貸付け(貸付額の変更)をお願いします。
 なお、福井県奨学生として奨学金の貸付金を受けるに当たり、福井県奨学育英基金条例および福井県奨学育英基金管理規則の規定に従い、奨学生としての責務を果たすとともに、貸付期間の終了後は、奨学金の返還義務を誠実に履行することを誓約します。

申請者は太線内を記入してください。

※の箇所は該当するものを○で囲んでください。

本人	現住所	〒	—	TEL(固定)	—	—	印
				(携帯)	—	—	
(下宿・アパート名など)							
	氏名	生年月日 年 月 日生					
連帯保証人	現住所	〒	—	TEL(固定)	—	—	印
				(携帯)	—	—	
(下宿・アパート名など)							
	氏名	生年月日 年 月 日生					
本人との関係							
保証人	現住所	〒	—	TEL(固定)	—	—	印
				(携帯)	—	—	
(下宿・アパート名など)							
	氏名	生年月日 年 月 日生					
本人との関係							
学校名	学校	課程	学科(科)	学年			
奨学生番号	※貸付申込区分		修学奨学金・通学奨学金				
貸付月額	修学奨学金 月額	円	通学奨学金 月額	円			
貸付期間	年 月 ~ 年 月						
通学奨学金の貸付けを希望する者	定期券の額	月額	円	乗車駅(停留所)名			
	利用交通機関名			下車駅(停留所)名			

(注意事項)

- 1 本人、連帯保証人および保証人は、それぞれ署名の上、押印すること。
- 2 連帯保証人および保証人の印は、印鑑登録してあるものを用い、印鑑登録証明書を添付すること。
- 3 在学証明書を添付すること。

学校点検印

福井県教育委員会記入欄

貸付月額 修学奨学金 円 通学奨学金 円

改正後

様式第9号(第10条関係)

異 動 届

年 月 日

福井県教育委員会 様

学校 制 科 学年

本人住所

氏名 (印)

奨学生番号

住所

連帯保証人

氏名 (印)

下記のとおり異動がありましたので、福井県奨学育英基金管理規則第10条の規定により届け出ます。

記

1 異動年月日 年 月 日

2 異動事由

3 奨学金受領状況
月額 円(年 月分から 年 月分まで受領済)

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

学校長名 (印)

現行

様式第9号(第10条関係)

異 動 届

年 月 日

福井県教育委員会 様

学校 制 科 学年
大学・短期大学 学部 学科 学年
大学大学院 研究科 専攻 課程 年次

本人住所

氏名 (印)

奨学生番号

住所

連帯保証人

氏名 (印)

下記のとおり異動がありましたので、福井県奨学育英基金管理規則第10条の規定により届け出ます。

記

1 異動年月日 年 月 日

2 異動事由

3 奨学金受領状況
月額 円(年 月分から 年 月分まで受領済)

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

学校(学)長名 (印)

改正後

様式第10号(第11条関係)

福井県奨学金貸付継続願

年 月 日

福井県教育委員会 様

学校	制	科	学年
	本人		①
	奨学生番号		
	連帯保証人		①
	保証人		①

年 月まで奨学金の貸付けを受けましたが、年 月 日から下記のとおり転学しましたので、引き続き奨学金の貸付けの継続をお願いします。

記

1 転出状況

学校 第 学年 から 学校 第 学年 へ転学

2 転学事由

上記のとおり転学を許可しました。
年 月 日

学校長名 印

上記のとおり転入学を許可しましたので、引き続き奨学金を貸し付けてください。

年 月 日

学校長名 印

現行

様式第10号(第11条関係)

福井県奨学金貸付継続願

年 月 日

福井県教育委員会 様

学校	制	科	学年
大学・短期大学	学部	学科	学年
大学大学院	研究科	専攻	年次
	本人		①
	奨学生番号		
	連帯保証人		①
	保証人		①

年 月まで奨学金の貸付けを受けましたが、年 月 日から下記のとおり転学しましたので、引き続き奨学金の貸付けの継続をお願いします。

記

1 転出状況

学校 第 学年 から 学校 第 学年 へ転学
大学・短大 大学・短大
大学大学院 大学大学院

2 転学事由

上記のとおり転学を許可しました。
年 月 日

学校(学)長名 印

上記のとおり転入学を許可しましたので、引き続き奨学金を貸し付けてください。

年 月 日

学校(学)長名 印

改正後

様式第11号(第13条関係)

福井県奨学金貸付再開願

年 月 日

福井県教育委員会 様

学校 制 科 学年

本人 ①

奨学生番号

連帯保証人 ①

保証人 ①

下記のとおり復学しましたので、奨学金の貸付けの再開をお願いします。

記

- 1 復学期日 年 月 日
- 2 貸付停止月 年 月分から
- 3 貸付再開希望月 年 月分から

上記の者は、年 月 日から復学したことを証明します。

年 月 日

学校長名



現行

様式第11号(第13条関係)

福井県奨学金貸付再開願

年 月 日

福井県教育委員会 様

学校 制 科 学年

大学・短期大学 学部 学科 学年

大学大学院 研究科 専攻 課程 年次

本人 ①

奨学生番号

連帯保証人 ①

保証人 ①

下記のとおり復学しましたので、奨学金の貸付けの再開をお願いします。

記

- 1 復学期日 年 月 日
- 2 貸付停止月 年 月分から
- 3 貸付再開希望月 年 月分から

上記の者は、年 月 日から復学したことを証明します。

年 月 日

学校(学)長名



改正後

様式第12号(第15条関係)

福井県奨学金貸付辞退届

年 月 日

福井県教育委員会 様

学校 制 科 学年

本人 印

奨学生番号

連帯保証人 印

保証人 印

福井県奨学金の貸付けを下記のとおり辞退します。

記

- 1 貸付辞退期日 年 月 日
- 2 借用証書提出日 年 月 日
- 3 貸付辞退事由

現行

様式第12号(第15条関係)

福井県奨学金貸付辞退届

年 月 日

福井県教育委員会 様

学校 制 科 学年

大学・短期大学 学部 学科 学年

大学大学院 研究科 専攻 課程 年次

本人 印

奨学生番号

連帯保証人 印

保証人 印

福井県奨学金の貸付けを下記のとおり辞退します。

記

- 1 貸付辞退期日 年 月 日
- 2 借用証書提出日 年 月 日
- 3 貸付辞退事由

改正後

様式第12号の2 (第15条関係)

福井県きぼう応援奨学金給付辞退届

年 月 日

福井県教育委員会 様

学校 制 科 学年

本人 奨学生番号 印

福井県奨学金の給付を下記のとおり辞退します。

記

1 給付辞退期日 年 月 日

2 給付辞退事由

現行

様式第12号の2 (第15条関係)

福井県きぼう応援奨学金給付辞退届

年 月 日

福井県教育委員会 様

学校 制 科 学年
大学・短期大学 学部 学科 学年
太学大学院 研究科 専攻 課程 年次

本人 奨学生番号 印

福井県奨学金の給付を下記のとおり辞退します。

記

1 給付辞退期日 年 月 日

2 給付辞退事由

改正後

様式第13号 (第16条関係)

(表)

収入印紙は、
印紙税の制度
に従い、貼付
してください。

福井県奨学金借用証書

借入金額	百	十	万	千	百	十	円
------	---	---	---	---	---	---	---

福井県奨学金として貸付けを受けました上記の奨学金は、福井県奨学育英資金貸付基金管理規則第17条により、裏面の明細のとおり、滞りなく返還します。

福井県教育委員会 様

年 月 日

本人	現住所	〒	—	TEL (固定)	—	—	印
	氏名	生年月日 年 月 日生					
連帯保証人	現住所	〒	—	TEL (固定)	—	—	印
	氏名	本人との関係					
	勤務先	名称	TEL		—	—	
保証人	現住所	〒	—	TEL (固定)	—	—	印
	氏名	本人との関係					
	勤務先	名称	TEL		—	—	

(注意事項)

- 1 本人、連帯保証人および保証人は、それぞれ署名の上、押印すること。
- 2 連帯保証人および保証人の印は、印鑑登録のあるものを用い、印鑑登録証明書
を添付すること。

学校点検印

現行

様式第13号 (第16条関係)

(表)

収入印紙は、
印紙税の制度
に従い、貼付
してください。

福井県奨学金借用証書

借入金額	百	十	万	千	百	十	円
------	---	---	---	---	---	---	---

福井県奨学金として貸付けを受けました上記の奨学金は、福井県奨学育英資金貸付基金管理規則第17条により、裏面の明細のとおり、滞りなく返還します。

福井県教育委員会 様

年 月 日

本人	現住所	〒	—	TEL (固定)	—	—	印
	氏名	生年月日 年 月 日生					
連帯保証人	現住所	〒	—	TEL (固定)	—	—	印
	氏名	本人との関係					
	勤務先	名称	TEL		—	—	
保証人	現住所	〒	—	TEL (固定)	—	—	印
	氏名	本人との関係					
	勤務先	名称	TEL		—	—	

(注意事項)

- 1 本人、連帯保証人および保証人は、それぞれ署名の上、押印すること。
- 2 連帯保証人および保証人の印は、印鑑登録のあるものを用い、印鑑登録証明書
を添付すること。

学校点検印

改正後

(裏)
奨学金返還明細

1 借用の明細

氏名 (フリガナ)

奨学生番号 ※ 性別 男・女 生年月日 年 月 日生

学校名 学校 課程 学科(科) 学年

借入金額の明細	借入金額 円		※ 借用期間終了事由								
	借用始期年月 年 月分	借用終期年月 年 月分	借用月数 月	借用月額 円	借用金額 円	満期	卒業 修了	辞退	退学	廃止	死亡

2 返還の方法

※ 割賦方法	返還期日	返還回数	割賦金	最終割賦金
年賦返還	毎年1回 12月20日まで	回	円	円
半年賦返還	毎年2回 { 6月20日まで 12月20日まで	回	円	円
月賦返還		回	円	円

↑ 割賦方法について一つ選択して○を付してください。

3 本人の卒業後の連絡先

卒業後の連絡先	住所	〒	TEL (固定)	—	—
			(携帯)	—	—
勤務先	名称				
	所在地	〒	TEL	—	—

(注意事項)

- ※印の箇所は該当するものを○で囲んでください。
- 勤務先が未定の場合は、勤務先欄は空欄にしておき、勤務先が決定したときに、速やかに届け出てください。

貸与台帳照会者印

[印]

現行

(裏)
奨学金返還明細

1 借用の明細

氏名 (フリガナ)

奨学生番号 ※ 性別 男・女 生年月日 年 月 日生

学校名 学校 課程 学科(科) 学年

大学(院) 学部 研究科

借入金額の明細	借入金額 円		※ 借用期間終了事由								
	借用始期年月 年 月分	借用終期年月 年 月分	借用月数 月	借用月額 円	借用金額 円	満期	卒業 修了	辞退	退学	廃止	死亡

2 返還の方法

※ 割賦方法	返還期日	返還回数	割賦金	最終割賦金
年賦返還	毎年1回 12月20日まで	回	円	円
半年賦返還	毎年2回 { 6月20日まで 12月20日まで	回	円	円
月賦返還		回	円	円

↑ 割賦方法について一つ選択して○を付してください。

3 本人の卒業後の連絡先

卒業後の連絡先	住所	〒	TEL (固定)	—	—
			(携帯)	—	—
勤務先	名称				
	所在地	〒	TEL	—	—

(注意事項)

- ※印の箇所は該当するものを○で囲んでください。
- 勤務先が未定の場合は、勤務先欄は空欄にしておき、勤務先が決定したときに、速やかに届け出てください。

貸与台帳照会者印

[印]